

～本セミナーでお伝えすることを一部紹介～

①集患施策

・内視鏡検査数を最大化する基礎的なマーケティング→「検索から予約」までの**離脱ポイントを徹底排除**
・**再診率を劇的に変える**「満足度×医学知識×トリガー」の方程式

②効率化施策

・Web問診×診察前ヒアリングによる**「外来スピードアップ」**
→患者満足度を維持しながら、診察室に入る前の情報収集で診療時間を大幅に短縮
・医師1名・2診・2クラーク体制の**「黄金オペレーション」**

③マネジメント施策

・「あの人がいないと回らない」から脱却するAIマニュアル活用術
退職やモチベーションに左右されない、24時間365日安定して稼働するAI基盤の組織運営
・精神論ではなく心理学に基づいた**「外さない」スタッフマネジメント**

第1講座

クリニック業界の時流

物価高騰や診療報酬改定により、従来通りの経営では利益率の低下が避けられません。しかし、働く時間を増やして収益を補う手法には限界があります。今、クリニックに求められるのは「労働集約型」からの脱却。生産性を劇的に高める働き方が必要となっています。



東京会場
株式会社船井総合研究所
内科支援部 医療グループ
関根 奈々



大阪会場
株式会社船井総合研究所
内科支援部 医療グループ
津田 真里亜

第2講座

休診日を増やして医業収入300万アップを達成させた秘訣

本講座では、実際に「診療時間短縮と医業収入増収」を両立させたクリニックの院長先生をゲスト講師にお招きします。大腸カメラ検査の強化や診療体制の見直しなど、現場で何を決断し、どのように実行したのか。机上の空論ではない、実践エピソードをお話いただきます。



医療法人社団
ながわら胃腸科クリニック
理事長・院長
中川原 寿俊氏

第3講座

どのクリニックでも実施可能な生産性向上施策

「診療時間短縮と医業収入増収」その裏側にある「仕組み」をコンサルタントが徹底解説します。検査準備の効率化やスタッフの自律を促す評価制度など、他院でも再現可能な成功事例を基に、貴院で明日から導入すべき施策を具体化します。



東京会場
株式会社船井総合研究所
内科支援部 医療グループ
吉田 真子



大阪会場
株式会社船井総合研究所
内科支援部 医療グループ
杉野 仁咲

第4講座

まとめ講座

本日の学びを整理し、明日から院長先生が踏み出すべき「最初の一步」を明確にします。変化を恐れず、スタッフが丸となって目標へ突き進むためのマインドセットを共有。理想のワークライフバランスと、強固な経営基盤を両立させるための決断を後押しいたします！



東京会場
株式会社船井総合研究所
内科支援部 医療グループ
関根 奈々



大阪会場
株式会社船井総合研究所
内科支援部 医療グループ
石川 聖

「10年先も今のペースで
診察できますか？体力に頼らない
『持続可能な診療モデル』へ」

東京会場
2026年
7月12日
14:00～16:30
(受付開始:開始時刻30分前～)

大阪会場
2026年
7月26日
14:00～16:30
(受付開始:開始時刻30分前～)

もっと休んで、 もっと伸ばす

診療時間の短縮をしながら月間医業収入300万円アップを達成した事例を大公開セミナー

そんなことできるの？

成功した院長が語るQOL&医業収入 向上ストーリー

やることは、
この3つだけ！

診療時間を「短縮」し、医業収入を「増加」させるポイント

限界突破の時間戦略:

内視鏡検査を実施できる時間帯をとことん増やし、常識外の診療時間マネジメント

高密度な内視鏡・外来オペレーション:

【患者満足が上がる×診療時間が減る×患者数が増える】を実現させるテクニック

高生産性を導くマネジメント:

事前に心理的なハードルを戦略的に解消し、「やり方を変えたくない心理」を「飛躍の原動力」に変える組織戦略

特別
ゲスト

医療法人社団
ながわら胃腸科クリニック
理事長・院長 中川原 寿俊氏

検査枠・時間設計・オペレーション施策 全てお伝えします

～スタッフの方とお越しいただくことを推奨します～

百聞は一見に如かず、一緒にセミナーにご参加いただいた方が圧倒的に成果に繋がります。

もっと休んでもっと伸ばす～診療時間を短縮し業績アップ～

お問い合わせNo. S142266

主
催

サステナグロースカンパニーをもっと。
Funai Soken

株式会社船井総合研究所 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー35階

当社ホームページからお申込みいただけます。(船井総研ホームページ[www.funaisoken.co.jp]右上検索マークから「お問い合わせNo.」を入力ください。)→ 142266

日時・会場	東京会場	大阪会場
	2026年 7月12日 【開催時間】 14:00～16:30 (受付開始:開始時刻30分前～) 船井総研グループ東京本社 サステナグローススクエア TOKYO JR「東京」駅 地下直結(八重洲地下街経由)。 東京メトロ丸の内線「東京」駅 地下直結(八重洲地下街経由)	2026年 7月26日 【開催時間】 14:00～16:30 (受付開始:開始時刻30分前～) 船井総研グループ大阪本社 サステナグローススクエア OSAKA 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田三丁目2番123号 インゲート大阪21階 【JR大阪駅の直上、西口改札口に直結】※2026年1月1日よりインゲート大阪(梅田)に移転し開催いたします。ご来場の際はご注意ください。
お申込み期日	銀行振込み:開催日6日前まで クレジットカード:開催日4日前まで ※祝日や連休により変動する場合もございます。	

受講料	一般価格	税抜 30,000円(税込 33,000円) / 一名様	会員価格	税抜 24,000円(税込 26,400円) / 一名様
	●会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。諸事情により、やむを得ず会場を変更する場合がございますので、会場はマイページにてご確認ください。また最少催行人数に満たない場合、中止させていただく場合がございます。尚、中止の際、交通費の払戻し手数料等のお支払いはいたしかねますので、ご了承ください。			

お申込み方法

【QRコードからのお申込み】
右記QRコードからお申込みください。

【PCからのお申込み】
<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/142266>
船井総研ホームページ(<https://www.funaisoken.co.jp>)の
右上検索マークから「142266」をご入力し検索ください。



【お問い合わせ】
船井総研セミナー事務局 E-mail seminar271@funaisoken.co.jp TEL 0120-964-000(平日9:30～17:30)
※よくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索してご確認ください。※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。

クリニックの収益性を担保し
胃がん・大腸がんの方を
一人でも多く救いながら
家庭の時間も大切にしたい

資格・学会専門医・評議員

- 日本外科学会専門医
- 日本外科学会指導医
- 日本内視鏡学会専門医
- 日本消化器病学会専門医
- 日本消化器外科学会専門医
- 日本消化器外科学会指導医
- 日本消化器病学会北陸支部評議員
- 日本消化器外科学会評議員

学歴・職歴

- 学歴・職歴
- 1994年3月 富山大学医学部卒業
- 1994年4月 金沢大学第二外科入局
- 2000年4月 高岡市民病院勤務
- 2002年4月 国立病院機構福井病院勤務
- 2005年4月 金沢大学がん局所制御学助教に就任
- 2014年10月 金沢大学附属病院肝胆膵移植外科
臨床准教授に就任
- 2014年10月 金沢大学附属病院地域医療連携室長に就任
- 2016年4月 医療法人社団 なかがわら胃腸科クリニック開業

医業収入を減らさずに休診日増加
そんな話、本当にあると思いますか？

月間診療日数 マイナス3日で

月間医業収入
+300万

月間内視鏡検査数
+62件

体力も収入もみんなの笑顔も

これが限界と思っていた

私の開業医人生を

“常識破りの診療体制”が
変えた

01 | 日本最先端の現場から、地域医療の最前線へ

皆様、こんにちは。なかがわら胃腸科クリニックの中川原寿俊と申します。
かつて私は、大学病院で移植外科医として「命の最前線」に立って
いました。最先端の手術に没頭する日々には誇りを感じていた一方で、
私の生活は、大切なものを削ることで成り立っていました。

「もっと手前で救えたはず」——その外科医としてのジレンマが、
家族とのわずかな時間を侵食していきます。どちらも守りたい。

「このままではいけない」

クリニックを継承した際、私は自分自身に強く誓いました。これからは、
患者様の健康を守ることはもちろん、自分や家族、スタッフの人生も
等しく大切にする。誰も犠牲にしない医療こそが、
本当の意味で地域を支える力になると信じています。

02 | 忍び寄る「静かな崩壊」と、焦燥感

現実には甘くありませんでした。

朝から鳴り止まない電話・溢れかえる待合室・ピリピリとした診察室

そんな状況を打破しようと、私はスタッフを守るため「検査数の制限」をかけ、定時帰宅を徹底させました。

しかし、現場には「救いたい患者様を断る」というもどかしさが募り、患者様からは不満の声が上がります。

一方で、スタッフのために良かれと思って整えた環境も、蓋を開ければ「休みが少ない」「給料が安い」という不満が聞こえ、仲間は去り、求人への反応も途絶えていきました。

患者様を想えば現場が疲弊し、
スタッフを想えば患者様に寄り添えない

スタッフ本位で動くほど組織が崩れていく事実、私は絶望していました。

追い詰められた末、私はある一つの「逆転の発想」を軸に、クリニックのあり方を根本から変える決断をしました。

休診日を増やす。
しかし、受け入れる患者様の数は最大化させる。

という、常識破りの挑戦でした。

03 | 理想を実現するための「仕組み」づくり

「休みを増やせば患者様の数、そして収入が減る」という常識を覆すため、私は徹底した「時間あたりの生産性向上」に着手しました。

具体的に実施したのは、「**検査・診察の回転数を上げる**こと」です。

・1日に実施可能な内視鏡検査数を増加：
内視鏡医としての専門性を活かし、より専門的で高付加価値な診療モデルへとシフトしました。

・外来受け入れ体制の抜本的効率化：
無駄な動線や作業を削ぎ落とし、診察の質を維持しながら待ち時間を短縮。

目標に掲げたのは、「**医業収入を維持したまま、休診日を増やす**」

改革を断行した結果、驚くべき変化が起きました。
休診日を増やしたにもかかわらず、収益は落ちるところか、以前よりも増加したのです。

「働き方」と「収益性」

その両立を可能にするのは、単なる努力ではなく「仕組み」なのだと確信しました。

04 | 収益の先にある「本当の幸せ」を求めて

休みが増えた分、期待に応えようと一人ひとりが懸命に動いてくれました。しかし、その熱量が裏目に出ることもありました。

特定のスタッフの頑張りが空回りすることもあり、周囲との歩調を乱し、かえって現場から不満の声が上がるという皮肉な結果を招いてしまいました。

「休診日は増えたが、本当に皆が望んだ姿なのか？」

私は、数字だけを追う経営の限界を知りました。そこで次に力を入れたのが、組織のマネジメントです。

クリニックが目指すべき未来を語り、スタッフ一人ひとりが「なぜこの働き方が必要なのか」を改めて自分事として捉えられるよう、対話を重ねました。

その集大成が、年末に行った「経営方針発表会」です。

全スタッフの前で感謝を伝え、私たちの存在意義を共有しました。かつてバラバラだった個の集団が、驚くほど強固な「チーム」に変わっていました。

一丸となった彼らの姿を見た時、私は外科医時代にも感じたことのない、頼もしさと手応えを感じました。

05 | クリニックの進化は終わらない

あの時、現状維持の誘惑に負けず、経営のあり方を変える一步を踏み出した自分を褒めてやりたい。

戦略によって「不安」を「確信」に変え、対話によってスタッフを「志を同じくする仲間」に変えることができました。

このチーム力があれば、私たちはもっと遠くへ行ける。

私の実体験が、かつての私と同じように「限界」を感じて悩む皆様にとって、現状を打破する一助となれば幸いです。

もっと休んでもっと伸ばすには

「時間当たりの生産性」を上げることが重要です。しかし、

- ✓ 診療が雑になるのではないか
- ✓ これ以上内視鏡検査の時間をどう作るのか
- ✓ 患者様の満足度が下がるのではないか

と様々なお悩みが出てくると存じます。



上記のお悩みをお持ちの皆様、「仕組み」を変えることで実現可能です。

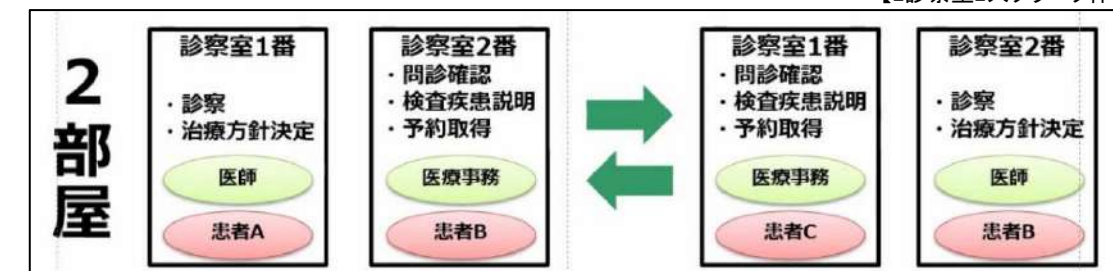
ここでは全国160の内視鏡クリニックをコンサルティングしてきた内視鏡専門のコンサルタントより2つ事例を解説いたします！

1

医師1名 2診察室2クランク体制

2室の診察室を活用し、一方で診察、もう一方でクランクが前問診を進めます。AIには不可能な、残葉整理や診察後の再確認、精緻な病名整理までをクランクが担うことで、医師は診察にのみ集中でき、患者満足度も向上します。日々の多忙な診療を圧迫せず、短期間で優秀なクランクを育成できるノウハウがあるからこそ、即戦力として「空白の時間」を劇的に削減することが可能です。

【2診察室2人クランク体制のイメージ】



2

1時間3枠大腸カメラ検査

通常、検査時間は観察のみで10～15分、ポリープ切除を含めると20～25分ほどかかりますが、患者様の属性からポリープの有無を予測して予約枠を最適に組み合わせ、さらに検査間の準備時間（ダウンタイム）を4分以内に短縮することで、検査の質を落とさずに回転率を高めることができます。

【ダウンタイム計測のイメージ】

現状のダウンタイム分析					
①患者が入室してから医師が入るまで	②医師が入ってから問診確認を入れるまで	③問診確認を入れてから検査開始まで	④検査終了後、患者が退室するまで	⑤次の検査の患者が入ってくるまで	
3分59秒	55秒	1分40秒	2分23秒	1分23秒	
各ケースの作業内容					
体位変換をする	患者誘導確認	麻酔はかけず待ち時間	注視を続ける	クランクさんの確認作業	
取っ手確認	麻酔剤の量を確認		毛布をかける	患者様の入れ替え	
部屋確認			スリッパを脱がせる		
「胃カメラの場合」はカンスける本人確認					
スコープの入れ替え					
拭き掃除					